

2021.11.26／虎ノ門ヒルズフォーラムホール(東京都港区)
自然エネルギー財団シンポジウム
「脱炭素の日本への新たな出発
～COP26を受けて、エネルギー転換をいかに加速するか」

改正エネルギー基本計画で 日本の未来は開けるのか

橘川 武郎(きっかわ たけお)
国際大学副学長・大学院国際経営学研究科教授
東京大学・一橋大学名誉教授
総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員

新しい風景：カーボンニュートラル

■ 20.10.26菅前首相所信表明演説「2050カーボンニュートラル」

←20.10.13JERA「2050ゼロエミッション」byアンモニア・水素

■ 第6次エネルギー基本計画策定過程の変化

* 経産大臣の基本政策分科会での姿勢

* 「50年⇒30年」という議論の組立て

: 第5次エネルギー基本計画決定時と対照的

■ 2050年の電源構成【参考値】(20.12.21資源エネルギー庁)

* 再生可能エネルギー:5~6割

* 水素・アンモニア火力:1割

* 水素・アンモニア以外のカーボンフリー(CCUS付き)火力+原子力

:3~4割⇒実質は原子力1割(副次電源化)

CCUS=Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage

二酸化炭素回収利用・貯留

新NDC:「30年GHG46～50%削減」の衝撃

- 21.4.22菅前首相、
気候サミットで「2030GHG13年比46%削減」表明
 - 従来のNDC (Nationally Determined Contribution. 国決定の貢献)
「2030GHG (Greenhouse Gas, 温室効果ガス), 13年比26%削減」
を大幅上方修正
 - ← バイデン米大統領からの「外圧」: 地政学的要因 (米中デカップリング)
- 国際的には50%に言及したことが評価される
- 逆転した順序
 - * これまで: エネルギー(電源)ミックス決定 → GHG削減目標国際公約
 - 今 回 : エネルギー(電源)ミックス決定 ← GHG削減目標国際公約
 - * 「積み上げ方式」の終焉
 - * 第41回基本政策分科会 (2021.4.22) で起きたこと
資源エネルギー庁幹部の「混乱」: 想定の上限は40%?

新しい2030年度の電源ミックス

- **ゼロエミッション電源: 59%** ← 44% (第5次エネ基)
 - * 再生可能エネルギー: 36~38% ← 22~24% (第5次エネ基)
 - * 原子力: 20~22% ← 20~22% (第5次エネ基)
 - * 水素・アンモニア: 1% ← 新設
- **火力発電: 41%** ← 56% (第5次エネ基)
 - * LNG火力: 20% ← 27% (第5次エネ基)
 - * 石炭火力: 19% ← 26% (第5次エネ基)
 - * 石油火力: 2% ← 3% (第5次エネ基)
- **エネルギー供給高度化法の適用はどうか?**
 - * ゼロエミ電源44%義務化 → 59%義務化に変更されるか?

新電源ミックスの問題点

■難航したエネルギー基本計画の改定

2021.5/20, 5/27, 6/1, 6/3, 6/9, 6/15, 6/22, 6/25の

基本政策分科会があいついでキャンセル

→ 気候サミットから3か月後の7/21にようやく電源ミックス案の提示

■4つの問題点

[1]「再エネ電源36～38%」は実現可能か? : 6～8%は未達か

[2]「原子力20～22%」は実現可能か? : 5～7%は未達か

[3]火力・化石(石炭・天然ガス)縮小で3Eは大丈夫か?

: 石炭縮小→Energy security・Economyに支障

: 天然ガス縮小→Energy security・Environmentに支障

: 15%近く超過達成か→京都議定書時と同様に国費流出は不可避か

[4]総需要の抑制で日本の産業の未来は大丈夫か?

: 「省エネの深掘り」の域を超える

: 総発電量・・・「2030年1割減⇔2050年3～5割増」の混乱

悪いのは新NDCではなく第5次エネ基

■新NDCや「2050カーボンニュートラル」が悪いわけではない

- * むしろglobal standardに追いついたという意味で高く評価されるべき

■悪いのは第5次エネ基に象徴されるこれまでのエネ政策

- * 原子力・石炭の比率が高過ぎ、再エネ・LNGの比率が低すぎた
- * 第5次エネ基の電源ミックスは、再エネ30%、原子力15%、LNG火力33%、石炭火力20%、石油2%とすべきだった。
- * そうすれば、2030年の再エネ・原子力15%未達は生じなかった？
- * 2030年に不可避の資金流出は過去の悪政のツケ

■日本はディープインパクトになれるか

- * 1周遅れからの「追い込み」
- * ゴールが2030年では不可能
- * ゴールが2050年ならば十分可能